

育成を目指す資質・能力

- (知・技) 戦国の世から天下統一の頃の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来や織田・豊臣の天下統一により戦国の世が統一されたことを理解する。
- (思・判・表) 戦国の世から天下統一の頃の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、ザビエルがキリスト教を伝えたことや織田信長や豊臣秀吉の政策について多角的に考え、表現する。
- (学びに向かう力等) 戦国の世から天下統一の頃の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに係る課題について主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。

ICT活用のポイント

同時編集による協働的な学びの充実 即時的な考えの全体共有 リアルタイムな学習状況把握 振り返りのポートフォリオ的な評価

【とらえる、あつめる】

秀吉が行った政治に興味をもち、追究の見通しをもつ。

秀吉が行った政治の結果、どんな世の中になったか。

【考える・分かる、伝える】

秀吉の行った政治と世の中の変化との関わりを話し合う。

【まとめる、振り返る】

秀吉の行った政治の意義についてまとめる。

事例の概要

- 個々で教科書や資料集を用いて秀吉の行った政治と当時の世の中について調べ、課題に対する自分の考えをもつ。
- 個々の考えを基に秀吉の行った政治と世の中の変化との関わりについてグループでまとめる。その後学級全体で共有し、話し合う。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 個人で調べたことを整理する際に、タブレットのホワイトボード機能を使用する。
- グループで話し合っまとめる際に、ホワイトボードの共有機能を使用する。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 個々の振り返りを毎時間クラウド上に保存。

【社会・小6・「戦国の世から天下統一へ」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

調べたことを付箋に書き込むことで修正や加工、整理が容易。

写真1

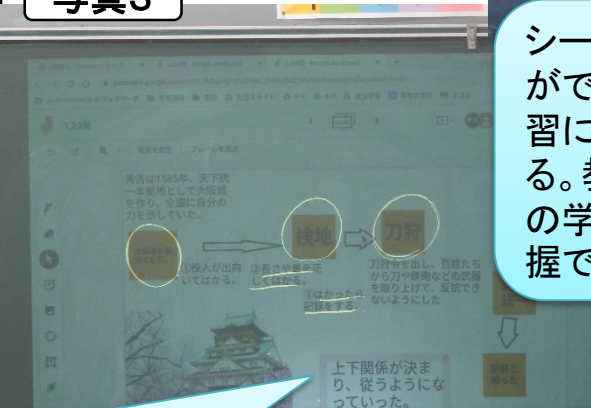


児童

写真2



写真3



シートを共有することで同時編集ができ時間が短縮。協働的な学習により自然な対話が促進される。教師はタブレットでグループの学習状況をリアルタイムで把握でき、必要な支援が可能。

大型提示装置を用いて作成したシートを瞬時に提示。拡大や書き込みができ学びの視覚化が可能。

毎時間、振り返りをクラウド上に保存することで、児童も教師もポートフォリオ的に評価することが可能。

【事例におけるICT活用の場面②】

写真4



○個人で調べまとめる場面では、児童は教師から学習支援ソフトを通じて配付されたホワイトボード上に、調べたことを次々に付箋に書き出した。内容で色を分けるなど、視覚的に整理している児童も見られた。（写真1）

○グループで追究する場面では、事前に教師は同時編集ができるよう、共有したホワイトボードを配付しておいた。児童は各自が作成した付箋を共有のホワイトボード上に貼りながら、本時の課題に対する考えと秀吉の政策との関連をグループでまとめていった。友達の付箋に対して質問や意見を言い合うなど、多くのつぶやきや対話が生まれ、考えを深める様子が見られた。教師はタブレットで各グループの進捗状況を確認しながら、適宜支援を行っていた。ホワイトボード上に矢印やコメントを加えるなどして、構造的にまとめることができていた。（写真2）

○全体共有の場面では、各グループでまとめたものをプロジェクタで提示し、グループ毎に発表した。教師は問いかけを行い、秀吉の政策の意義について全体で深めていた。（写真3）

○振り返りの場面では、色を指定した付箋に各自が振り返りを打ち込み、追究の場面で作成したホワイトボード上に貼り付けてクラウド上に保存した。（写真4）

【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト
- ・ホワイトボード機能